



幸・美・安・信・心・優・愛・築

こんな漢字が大好きです

苦・振・憎・悪・泣・捨・劣・壊

こんな漢字が苦手です

四季のある日本。島国の日本。おもてなしを大切にする日本。
勤勉な日本。
そんな日本が大好きです。

地震災害の日本。台風災害の日本。車振動災害の日本
そんな日本を守りたい。

制振装置 **HKS MER-System** は

木造住宅の住まいを制振効果により
安心と安全を
日本全国に提供してまいります。

日本制震システム株式会社
代表取締役 大瀧 実

ご挨拶と今年を展望してのご提案

■創刊号発行にあたって
2015年の年明けを無事皆様と迎えられました事は、ひとえに皆様方のご支援ご鞭撻の賜物と心より御礼申し上げます。引き続き、2015年も皆様と協働し、より良い住宅作りに貢献してまいりたいと祈念しておりますので、宜しくお願い致します。

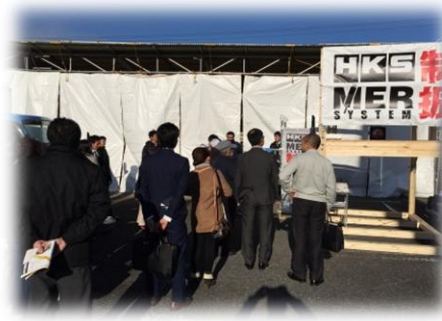


さて住宅業界各社は、2014年、消費税増税後の受注減少への対応に頭を悩まされた年でした。では2015年はどうかという、消費税増税の延長が決まり、過去最低のフラット35の金利状況など考慮すると、家を建てられるお施主様には、まさに住宅業界の常套句、「今が建て時」になる訳で、昨年減少した受注減少分をいかに取り返すかが最大のテーマになると思います。

そして受注確保拡大に向けて、住宅会社様としては、まずは、商品力の充実向上が必要かと思いますが、どこかで他社と差異化を作り出す必要があります。差異化ポイントとして最近では、すっかり定着した、「外皮性能」について、省エネ性の向上に腐心される会社が多いようですが、この場合忘れてならないのは、外皮性能は、まず地震

に対する耐力と省エネ性（断熱性）の2本立てという事です。省エネ性能での差異化ばかりに目が行っていますが、実は差異化のポイントは、耐震性能ではないのか？そこが差異化のポイントになる！というのが私どもの主張です。

なぜなら省エネ性は今後の新省エネ基準では、多様な設備の中から、どういう設備をお施主様が選ぶかで大きく変わってくることから、最初からお客様へ使用基準の説明は難しいからです。もちろん省エネ性に配慮しなくて良いと言っている訳ではありません。



しかし、その部分は差異化を最初からは表示し難いし、一歩間違えると、お客さんとのトラブルの原因にもなりかねない問題です。ですからその部分は、基準を越えますよ。というような概略の話にしておいて、省エネ仕様の内容説明は後工程ですることが得策であると思います。

省エネ性に比べ、耐震性（耐震十制

振)の話は明確に出来ますし、まだまだ各住宅会社様での対応に差があります。差があるということは、チャンスがあるという事です。新年の集客イベントとして、制振体験モックアップをつくり、制振装置の体験実験を売りに集客に成功されたビルダー様の事例が増えつつあります。ぜひ今年の商品作りでは、省エネ性能と合わせて(耐震+制振)による差別化にご注力ください。そして数ある制振装置の中でも、HKS社MERシステムは間違いなく最高の性能を有する制振ダンパーです。

そのシステムをお客様に説明することが、制振装置を未採用な住宅会社様や他社制振装置採用の住宅会社様への差別化になる訳です。

私どもといたしましても住宅会社様の受注拡大へのご支援を精一杯させていただきます。どうぞ、今年はHKS社MERシステムで他の住宅会社様との差別化を図り、受注拡大に邁進していただきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。



WEB限定のダウンロード資料のご紹介

■資料ダウンロード

当社のホームページでは、MER システムのパンフレット・施工手順書・リンクバナーがダウンロードできるようになっております。
※ダウンロードはホームページ内のWEB限定ダウンロードから

※ダウンロードはホームページ内のWEB限定ダウンロードから

MER資料 ダウンロード

檢索

■お問合せフォームのセキュリティ強化

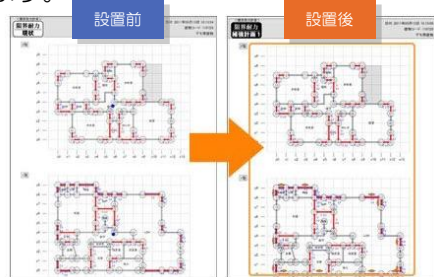
当社ホームページからお問合せ頂く方の大切な個人情報保護する為に、先月からSSLを導入しました。※SSLとは、ウェブサイトで入力する個人情報などを暗号化し、安全に送受信する技術です。これからも随時、WEB限定の情報を発信致しますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



限界耐力計算についてのご案内

全棟無償で実施

■当社では、全棟無償で限界耐力計算を実施し、最も効果的な配置計画と数値的效果を計算書にてご提出しております。



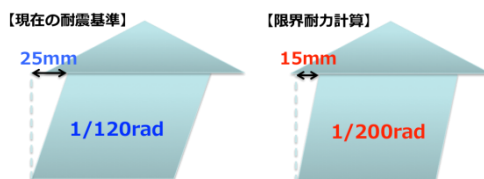
計算ソフト



■計算ソフトは、日本建築防災協会の『住宅性能診断士ホームズ君 耐震診断Pro』です。新築木造戸建住宅の構造計算（壁量計算・許容応力度計算）とは異なる基準の計算方法となっております。

評価基準が厳しいから安心

■限界耐力計算は、現在の耐震基準の層間変形角や地震動よりも厳しい評価基準となっております。制振装置を設置することにより、数値的に改善されますので、お施主様もより一層ご安心頂けます。



レポート付きで説明不要

■計算書は約40ページ(1部)あり、一般のお施主様にはとても難解です。当社では、別紙で『計算レポート』をご提出しております。こちらのレポートでは、制振装置の数値的效果を3つのポイントで解説しております。



	現状	制振装置 1-2-3,7846 設置後
総合評価 (■ 一般評価 □)	1.21	1.37
総合評価 (■ 限界耐力 □)	0.78	1.08
減衰定数 (■ □)	0.10	0.17
速度低減率 (■ □)	0.70	0.90

【主な3つの数値的效果】

①総合評価

極めて稀に起きる大地震に対する評価。

②加速度低減率

建物に伝わる地震エネルギー(負担)の割合を表しています。建物に100%伝わる時に『1.0』とし、上記の場合、制振装置設置後は0.54なので、46%低減している評価となります。

③減衰定数

数値が上がることで、揺れ(振幅)が早く治る評価となります。

ツールの活用紹介 【共振模型】

■阪神・淡路大震災から20年目の節目を迎え、地震に関するTV番組を多く目にするようになりました。学者や専門家からは口々に『戸建住宅に大きな被害を起こすのはキラールス』と発言されています。

キラールスとは？

■地震には、ゆっくりとした揺れ・早い揺れ等、様々な揺れがあります。これを周期と言います。キラールスとは1~2秒程度の地震の周期を表しており、戸建住宅が共振現象を起こしやすい最も危険な揺れです。阪神淡路大震災では地盤の影響もあり、約1.3秒という周期でしたので多くの被害をもたらしたのです。



共振模型を使ってのご説明

MER メディア情報

検索

■まず初めに、建物には固有周期というものがあります。例えば同エリアで震度6の地震が発生したと仮定します。古い木造住宅、新築の木造住宅、RC造の建物、揺れ方は様々異なります。これが建物の固有周期です。建物の固有周期と地震の周期が一致すると共振現象が起こります。

■右側の模型が高さによる共振現象の違いです。ゆっくり動かすと、高層建築が揺れ、早く動かすと低層建築が反応します。

■左側の模型が固さ(耐震)による共振現象の違いです。現在の建築基準法は固い建物で地震に強い、要するに建物は揺れないと考えられますが、そんな事はありません。赤は古い建物、黄色が現在の建築基準、緑が長期優良住宅だとします。ゆっくり揺らすと柔らかい赤が反応します。少し早く動かすと、黄色が反応します。更に早く動かすと強いと言われていた固い建物もこのように揺れてしまいます。緑が揺れている時にはそれ以外は殆ど反応しないと言う事は、発生する地震の周期によって、影響を受ける建物はその度に違ってくると言えます。

MERシステムの最大の特徴は速度に依存せず、様々な周期に対応しキラールスから建物を守ります。是非お客様にも触れて頂き、コミュニケーションを深めるツールとしてもご利用下さい。

イベント報告と 活用事例

MERシステムの体験イベントが各地で開催され、多くの方から納得の声を頂きました。



来場されたお客様に、構造体にMER-Systemを設置して、耐震+制振をご説明します。他社との違いが一目瞭然です。



新潟県の体験イベントでは、皆さん真剣に説明を聞かれていました。



制振セミナー開催のNホーム様では長時間の説明に耳を傾けていました。



1月の埼玉県の体験イベントでは寒い中、多くのお客様の集客を実現出来ました。



MERの設置前と設置後の違いを体験すると、『全然違う、建てる前に体験出来てよかった』が皆さんの感想です。



構造模型とペットボトルで揺れの違いを一目で理解出来ます。

来場された全てのお客様が体験しました。



大阪の大型SRでの体験イベント



皆さん体験してみたいと、寒い中でも順番待ちです。全員体験して『震災の日を思い出した』『安心出来る家がいい』と最新技術に感心していました。

各地で開催されたイベントでは大変多くの方にご来場頂き、MER-Systemの性能を体験していただきました。ビルダー様からは『集客が多かった』『制振装置の効果が判り易い』『お客様に安心してもらえて、受注に繋がった』という、という声をいただきました。



子供さんにはラジコンカーが大人気



日本制震システム 株式会社

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-11-17 プラントビル5F
TEL:03-5809-2081 FAX:03-5809-2401

<http://www.seishin-system.com/>